



受賞者決定



平成28年11月8日
「牛乳が好き。」MILK○JAPAN中国四国
フォトコンテスト2016の受賞者決定及び
表彰式の概要について

生産部畜産課

中国四国農政局では、6月1日の牛乳の日、6月の牛乳月間に合わせ、牛乳・乳製品の消費拡大及び酪農への理解を深めるため、フォトコンテストを開催しました。

募集作品のテーマは「牛乳・乳製品の部」、「乳牛とのふれあいの部」の2部門です。平成28年9月30日に締め切りましたところ、多数の応募がありました。

10月17日、審査委員長に写真家末澤雅彦氏を迎え、審査会を開催し、厳正なる審査の結果、下記のとおり受賞者が決まりました。

最優秀賞

中国四国農政局長賞



作品名「ゆびしゃぶり」

「乳牛とのふれあいの部」
えのもと まい
山口県岩国市 榎本 舞 さん

片手がすっぽりとしゃぶられているのに
厭がらず、とても笑顔で、牛が好きな
子だと伝わる作品でした。



表彰式後、牛乳を飲みました。



○ 審査委員長のご紹介

末澤 雅彦 氏

北海道旭川市出身 2006年から岡山県津山市に移り和牛繁殖経営を開始。キャン(株)プロ契約の写真家。1996年～2001年「山と溪谷社 ネイチャーフォトコンテスト年間賞」を毎年受賞。2006年には「よみうり写真大賞」を受賞されるなど受賞多数。現在も岡山県内を中心にご活躍されています。

優秀賞

中国生乳販売農業協同組合連合会会長賞



作品名「ぎゅうっと」

「乳牛とのふれあいの部」

やまもと さえ

広島県神石郡神石高原町 **山本 紗栄** さん

動物が好きな人だと、後ろ足を噛んでいる牛が物語っている作品です。

四国生乳販売農業協同組合連合会会長賞



作品名「いのちを最後までありがとう。」

「乳牛とのふれあいの部」

おおやま たえ

香川県さぬき市 **大山 多恵** さん

普段、牛飼いをしている人は何気なく見る光景で、経済家畜としての定めなのですが、命の大切さを子供たちの背中が伝えてくれる作品です。

一般社団法人中央酪農会議会長賞



作品名「さあ、いっしょにおさんぼしよ」

「乳牛とのふれあいの部」

つつい ともこ

岡山県真庭市 **筒井 智子** さん

大型動物を巧みに操る、子供の決定的瞬間印象に残りました。ここまで、牛と人との信頼関係を作ることができた、牛飼いさんの手の入れように感動しました。

一般社団法人Jミルク会長賞



作品名
「恋患い。。。」

「乳牛とのふれあいの部」

うめと ちひろ

山口県防府市 **梅本 千裕** さん

牛の尾毛を自分の髪の毛のように扱い、しかもタイトルからも写っている学生さんからも伝わる意味深い作品に思います。牛と語り合い、ともに過ごしている時間を感じる作品です。



審査員特別賞10作品(敬称略)

- 「やっぱこれだね～っ！風呂後の牛乳！」
広島県海田町 笠原 恵子
- 「ぎゅ、と味わう。」
香川県さぬき市 宇田川 阿佐子
- 「モー 食べたい」
愛媛県松山市 二川 武
- 「モウいいかい」
広島県廿日市市 山本 高史
- 「がっつき過ぎ！！」
山口県山口市 関谷 敦子
- 「はじめまして」
徳島県板野町 井上 かおり
- 「ジャージー種。ホモサピエンス。ホルスタイン種。」
山口県防府市 岡林 修平
- 「ねえ～ え～あっち行こうよお～」
山口県防府市 村中 龍之介
- 「あの～聞いてます？ ……うむ。」
山口県防府市 出羽 友子
- 「あーら、よっと！」
山口県下関市 林 純二



11月8日午後1時半より表彰式を行い、最優秀賞(中国四国農政局長賞)及び優秀賞(中国生乳販売農業協同組合連合会会長賞、四国生乳販売農業協同組合連合会会長賞、一般社団法人中央酪農会議会長賞、一般社団法人Jミルク会長賞)を受賞された方へ賞状を授与いたしました。また、共催、後援団体からは、副賞が贈呈されました。



もっと 食べようお肉

▽ 消費者の部屋コーナー ▽

11月14日から12月2日まで岡山第2合同庁舎1階消費者の部屋では、「もっと食べよう、国産の畜産物！」と題した展示を行います。

お肉を賢く、美味しく食べていただけるよう、食べる前にぜひ知っておきたい畜産物についての基礎知識、中国四国地域の肉や卵等の畜産物や飼料用米についてのパネルや中国四国地方のブランド畜産物等について紹介します。

もちろん、フォトコンテストの入賞作品も展示しています。是非一度お越し下さい。

寒い冬にはホットミルクが一番！

ちなみにホットミルクにはリラックス効果のある成分が含まれています。

詳しくはこちら→http://www.dairy.co.jp/milk_i/milk/m55/index.html

